



# ヤスハラケミカルの環境マネジメントシステム

ヤスハラケミカルは、人や環境に優しい天然素材の原材料を生かした製品を開発・提供することはもとより、資源調達から製造、流通、販売まであらゆる企業活動において環境への配慮を行うことで、持続可能で豊かな環境づくりに貢献していきたいと考えています。

## 基本理念

自然の恵みと科学技術を融合させる独創企業として、産業と生活の向上につながる活動領域をひろげます。

## 環境・安全に関する基本方針

- 1 天然物の有効活用による安全で環境負荷低減型製品の開発により、各産業分野における地球環境保護(省資源、リサイクル、健康有害物の排除など)の推進に貢献する製品を提供することで社会に貢献します。
- 2 製品の開発から廃棄に至るまでのライフサイクル全般にわたり、環境負荷の低減を図り、環境保護に努めます。
- 3 無事故・無災害の操業を継続し、従業員と地域社会の安全を確保します。
- 4 原料、製品の安全性を確認し、従業員、物流業者、顧客など関係する人々への健康障害を防止します。

全従業員は、この方針の重要性を認識し、法令、規格及び社内ルールを順守するとともに、常に改善に努力すること。

2006年5月2日

ヤスハラケミカル株式会社 代表取締役社長 安原 禎二  
生産本部長 山本 正憲

## 推進体制

### 環境安全推進体制

当社では、「基本理念」及び「環境・安全に関する基本方針」をもとに各工場で「環境方針」を定め、これに沿った計画を立案して、環境負荷低減活動を実施しています。

環境安保会議は、品質環境保安室長を議長に、社長、常務、生産本部長、監査役をはじめ、実施責任者である各工場長をメンバーとして、毎年12月に開催しています。この会議では、当年の活動実績の報告及び次年度の環境・安全に関する重点活動目標を審議しています。2007年から重点活動目標は、できるだけ数値目標化し、達成度が評価できるようにしています。

また、この目標以外にも各工場で独自に中期5ヶ年目標を設定し、継続的な環境改善活動を実施しています。

高木工場、福山工場、総領工場、技術1部、研究1部は、ISO14001の認証取得を受けていませんが、ISO14001の規格に沿ったシステムを構築し、認証取得工場と同様に、継続的な環境改善活動を実施しています。

### ISO14001審査状況

事業場名	認証取得日	更新審査実施日
新居浜工場	2001年6月25日	2008年4月15日～17日

登録番号: いずれもJCQA-E-0264

※ 鶴飼工場、本社(品質環境保安室)は、新居浜工場の認証範囲拡大として2006年7月24日に認証取得

※ 鶴飼工場は、技術2部を含んでいます。

#### 更新審査の結果について

判定結果: 適合

指摘された観察点…軽欠点: 2件、コメント: 2件

### 内部環境監査

当社では、「内部監査手順」にもとづき、資格認定した社内の内部監査員が、環境管理責任者が立案した年間内部監査計画書にもとづき、ISO14001認証取得工場、高木工場、総領工場、福山工場、研究1部、技術1部の内部環境監査を実施しています。内部環境監査の結果は、経営者に報告され、マネジメントレビューに反映されます。

【推進体制図】

